

外邦図 研究 No. 12

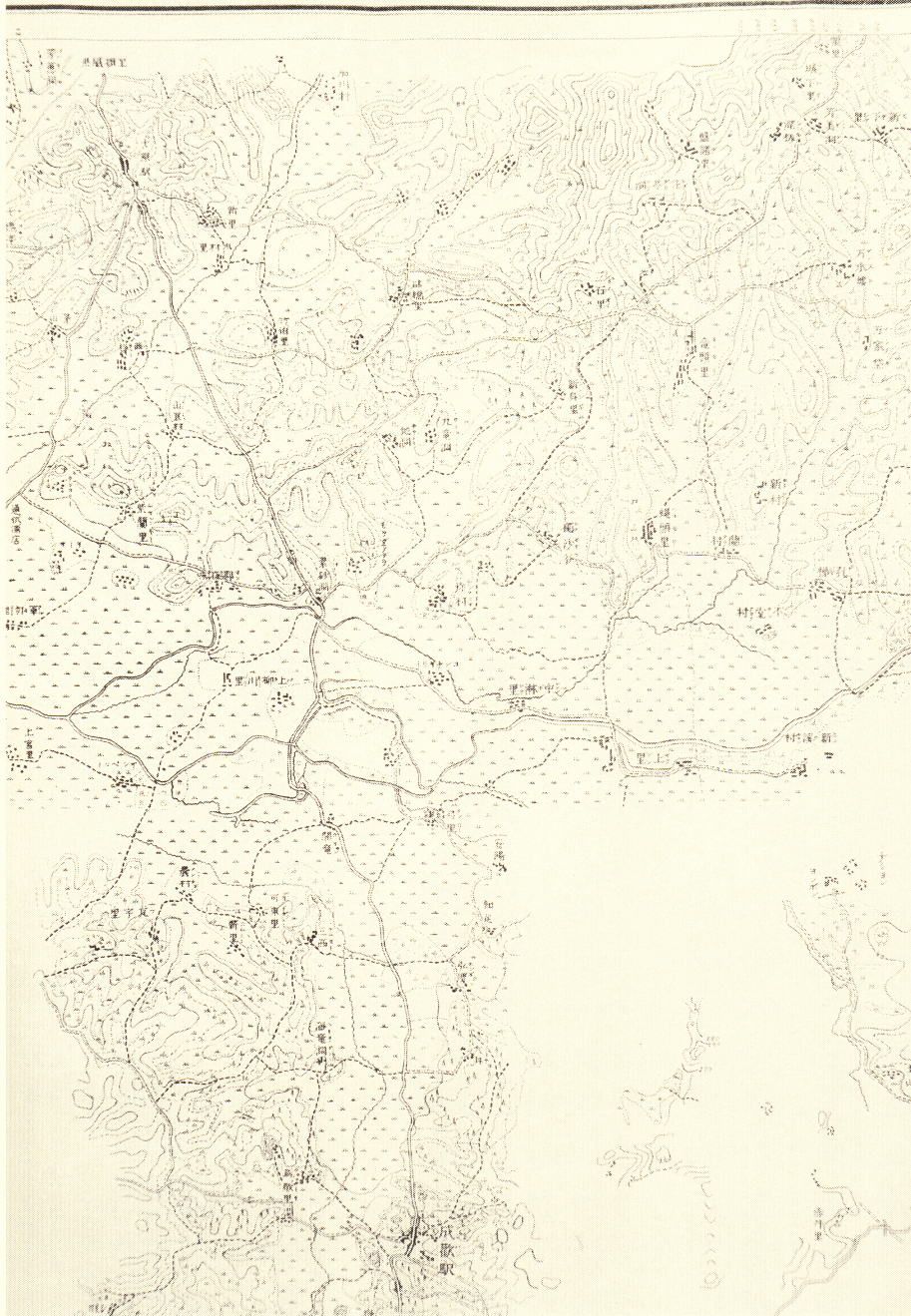
ニューズレター

令和2～4年度科学研究費補助金(基盤研究[B][1] 課題番号:20H01385)

「東アジアにおける日清・日露戦争期の地理情報の収集と活用」

研究成果中間報告書(令和2年度の交付金により刊行)

成 歡 驛



成歡驛(縮尺5万分の1、第一軍司令部・陸地測量部、1894年測図、1895年製版、57.2×58.1cm、大阪大学蔵)

本図は日清戦争初期(1894年7月末)の成歡の戦場を描くもので、第一軍司令部測量班に配属された陸地測量手、豊田四郎らによる同年9月はじめの測図にもとづく。陸地測量部の測量技術者たちの最初の海外での測量であったが、第一軍はすでに平壤に向け北上しており、また画板のよう携帯図板しかなく、三脚付きの測板になれた豊田らは大変困ったと1936年の座談会で回想している。不十分な器具によるとしても、本格的な地形図を思わせるべきであるが、本図は公式戦史である『明治廿七八年日清戦史』第1巻の「成歡ノ戦闘」の記載には採用されなかった。これに付載する地図(1897年の再測による)と比較すると、成歡駅東側の重要な戦場が空白になっているだけでなく、ほとんどの地名も一致しない。おそらく住民の協力が得られなかったからであろうが、豊田らの外邦測量が当初から困難に直面したことがうかがえる(本誌「日清戦争に際し戦史用に作製された2万分の1地形図」参照)。

外邦図研究グループ

大阪大学大学院文学研究科人文地理学教室気付
〒560-8532 大阪府豊中市待兼山町1-5
<http://www.let.osaka-u.ac.jp/geography/gaihouzu/>
2021年3月